

◆◆◆ 第 40 回日本実験動物技術者協会総会プログラム ◆◆◆

1. 第 40 回日本実験動物技術者協会総会

日本実験動物技術者協会総会および各種表彰

10月27日(金) 14:15~15:45 A会場(テルサホール)

1. 第 25 回研究奨励賞
「ラットにおける顕微授精技術」
平林 真澄(自然科学研究機構生理学研究所)
 - 受賞者講演 15:30~15:45
2. 第 5 回顕彰
早川 純一郎(元 金沢大学)
3. 第 12 回実験動物技術功労賞
吾郷 昭夫(島根大学総合科学研究支援センター)
4. 業界アワード
 - 1) 日本実験動物協同組合賞
「技術者のできる動物福祉への対応」
小松 輝夫、瀧ヶ平 美里、安田 将志、柳原 五吉 (国立がんセンター 研究所 実験動物管理室)
 - 2) 日本実験動物飼料協会賞
「C57BL/6J マウスへの糖尿病・肥満研究用飼料給与の影響」
田中 悠輔¹、武石 勝¹、石川 信幸¹、渋井 仁志¹、影山 靖²、田口 福志²
(¹日本配合飼料株式会社 中央研究所、²日本クリア株式会社)
 - 3) 日本実験動物器材協議会賞
「環境エンリッチメントが 2 型糖尿病モデルマウスの病理学的パラメータに与える影響」
武智 真由美、桐原 由美子、黒崎 薫、三浦 隆、吾郷 昭夫
(島根大学 総合科学研究支援センター 実験動物分野)
5. 40 周年記念特別表彰者発表
 - 1) 最多発表者賞
 - 2) 特別功労賞

2. 40 周年記念特別講演

特別講演 I [日本実験動物技術者協会本部共催]

10月27日(金) 13:15~14:15 A会場(テルサホール)

座長：小原 徹(鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター)

『これからの実験動物技術者に求められる事！』

養老 孟司(東京大学名誉教授)

特別講演 II

10月28日(土) 14:00~15:00 A会場(テルサホール)

座長：坂本 雄二(千寿製薬株式会社)

『人生いかに学ぶか！』～生と向き合う技術者、そして人としての皆様に伝えたいこと～

浅田 次郎(直木賞作家)

3. 招待講演

招待講演 [大会長主催]

10月27日(金) 11:00～11:50 A会場(テルサホール)

座長：坂本 雄二(千寿製薬株式会社)

『再生医療研究と実験動物』～サルを用いた角膜内皮再生医療の開発～

小泉 範子(同志社大学再生医療研究センター)

4. シンポジウム

シンポジウム [ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」共催] 10月28日(土) 9:00～11:00 A会場(テルサホール)

『ラット生殖技術の進歩』

座長：芹川 忠夫(京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)

日置 恭司(実験動物中央研究所)

1. 「NBRP-Rat におけるラット胚精子の保存状況」

芹川 忠夫(京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)

2. 「ラット受精卵の採取・保存・個体復元」

江藤 智生(実験動物中央研究所)

3. 「ラット精子の凍結保存と人工授精」

柏崎 直巳(麻布大学獣医学部動物繁殖学)

4. 「ラットの顕微授精技術」

平林 真澄(自然科学研究機構生理学研究所)

5. 「Germline Stem (GS)細胞を用いた生殖工学とそのラットへの応用」

篠原 隆司(京都大学大学院医学研究科分子遺伝学)

5. 教育セミナー

教育セミナー I [日本実験動物学会共催]

10月27日(金) 9:10～11:00 A会場(テルサホール)

『PCR法を使った実験動物のジェノタイピングの話題』

座長：三好 一郎(名古屋市立大学大学院医学研究科実験動物研究教育センター)

榊原 和佳子(株式会社 JTクリエイティブサービス)

1. 「遺伝・育種学における PCR 法の活用を紹介」

加藤 秀樹(浜松医科大学医学部附属動物実験施設)

2. 「ジェノタイピングにおける PCR 法のトラブルシューティング」

庫本 高志(京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)

3. 「ジェノタイピングにおける PCR 法の技術改良(Amp & FTA 法の紹介)」

中西 聡(京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)

協賛：オリエンタル酵母工業株式会社

『遺伝子組換え動物の微生物管理』～スワ！感染症発生！こんなときあなたならどうする？～

座長：喜多 正和（京都府立医科大学大学院動物実験センター）

1. 「汚染した遺伝子組換え動物のクлинаップの現状」
田島 優（大阪大学大学院医学系研究科実験動物医学教室）
2. 「遺伝子組換え動物における感染症対策」
八神 健一（筑波大学大学院人間総合科学研究科／生命科学動物資源センター）
3. 「遺伝子組換え動物に対する感染症対策の今後」
喜多 正和（京都府立医科大学大学院動物実験センター）

- * 教育セミナーⅡはランチョン形式で開催します。開催当日に総合受付にて「教育セミナーⅡ参加券」を配布します。第1会議室入り口にて「教育セミナーⅡ参加券」と引き換えにお弁当をお渡しします。なお、参加券の配布は、先着順にて定員となり次第、終了させていただきます。ご了承下さい。

6. 特別セミナー

特別セミナー

10月27日(金) 16:00~18:00 A会場(テルサホール)

『動物実験等の評価検証システム』

座長：鍵山 直子(実験動物中央研究所)

1. 「AAALAC International の認定とは何か」
黒澤 努(大阪大学大学院医学系研究科実験動物医学教室)
2. 「AAALAC International による完全認証取得」
宮崎 謙(株式会社イナリサーチ)
3. 「動物実験の自主管理体制の評価・検証システム」
八神 健一(筑波大学大学院人間総合科学研究科／生命科学動物資源センター)

7. 話題提供

話題提供Ⅰ(ティータイムセミナー)

10月27日(金) 16:00~17:30 B会場(第1会議室)

共催：エルエスジー株式会社、ハムリー株式会社、株式会社アニメック

『Today's Situation of Laboratory Animal Housing in Europe』

ー ヨーロッパにおける実験動物飼育の現状 ー

Gianpaolo Milite (TECNIPLAST S.p.a.)

座長：二上 英樹(岐阜大学 生命科学総合研究支援センター)

1. 「Laboratory Animals Allergens and methods to control them.」
(実験動物由来のアレルゲンとその制御)
2. 「EU new guideline draft on IVC validation.」
(個別換気ケージシステムの換気に関するEU新ガイドライン草案)
3. 「The new approach in Decontamination Procedures.」
(新しいデコンタミネーション技術へのアプローチ)

話題提供Ⅱ

10月28日(土) 13:20～13:50 C会場(大会議室)

『実験動物病原微生物モニタリング・2005年の汚染状況』特にマウスにおける SPF とその他の比較

岡島 泰夫 (株式会社 メルシャン クリントック 環境検査センター)

座長 : 岡本 明(大阪大学医学部附属動物実験施設)

8. ランチョンセミナー

ランチョンセミナー I

10月27日(金) 12:00～13:00 B会場(第1会議室)

共催 : 株式会社新日本科学

『よりヒトに近いモデル動物の作出にむけた CYP2C76 の解析』

宇野 泰広 (株式会社新日本科学 薬物代謝分析センター ゲノム情報グループ)

ランチョンセミナー II

10月27日(金) 12:00～13:00 C会場(大会議室)

共催 : エデstromジャパン株式会社

『自動給水についての米国での最新情報』

ロバート M レンケン (エデstrom インダストリ社 営業統括部長)

ランチョンセミナー III

10月28日(土) 12:10～13:10 C会場(大会議室)

共催 : 高塚薬品株式会社

『実験動物施設におけるハイポックウォーターの有用性(特に殺菌効果)について』

種田 浩次 (高塚薬品株式会社)

9. 関連集会

第36回日本実験動物環境研究会

10月28日(土) 15:00～16:40 A会場(テルサホール)

『実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準に基づく実験動物飼育管理のあり方』

10. 実験動物器材・商品の展示会

期 間 : 平成18年10月27日(金)～28日(土)

会 場 : 東館2Fセミナー室、中会議室、視聴覚研修室、西館テルサホール2Fロビー